

定例会一般質問

平成14年第4回市議会定例会の一般質問が次の日程で行われます。

日 時 12月4日(水)、5日(木)、6日(金)いずれも午前10時開議
 質問内容 下表のとおり
 問合せ先 議会事務局(電話 042-387-9947)

日 時	議員氏名	会 派	発 言 の 表 題
12月4日	鈴木洋子	小金井市議会公明党	1 誰もが普通の生活ができる社会に(小金井市に)
			(1) 性同一性障害の正しい認識と理解を
			(2) セクシャル・マイノリティを含む性教育の充実を
			(3) 印鑑証明など、行政文書に不要の性別記載の削除を
12月4日	露口哲治	自由民主党小金井市議団	1 道路工事について
			(1) 道路占用時の住民説明について
			(2) 道路地盤について
			(3) 上水道工事占用時、市と都の関係は
			(4) 施工業者の評価について
			(5) 道路通行車輛を把握した上での占用許可を
			(6) 道路占用時の沿道建物被害の補償について
			2 武蔵小金井駅南口駐輪場について
			(1) 中央線立体化時に高架下駐輪場はできるか
			(2) 駐輪場関連法令について
(3) 本町六丁目生垣展示場を駐輪場に			
12月4日	五十嵐京子	改革連合	1 学校のトイレ改修について
			(1) 現状と今後のスケジュールは
			(2) 改修対象外のトイレに関しても、きめ細かい修繕を
			2 生涯学習の観点から、市職員による「出前講座」を実行しないか
12月4日	森戸洋子	日本共産党小金井市議団	1 乳幼児医療費の無料化制度の拡充を
			(1) 医療制度の改革による乳幼児医療制度の変更と市への影響について
			(2) 子育て世代の生活と子どもたちの健康について市はどのように把握していますか
			(3) 所得制限の撤廃の対象年齢を上げませんか
			2 ごみの有料化ではなく、抜本的な対策を

			<p>(1) 市民、事業者、市が一致して、更なる減量とリサイクルを</p> <p>(2) 市民へのごみ減量とリサイクルについての説明会を、“網の目”のように開きませんか</p> <p>(3) 食品リサイクル法の実施に伴う対応について</p> <p>(4) ごみの有料化の前にやるべきことは、たくさんあります</p> <p>3 二枚橋焼却場の建て替えについて問う</p> <p>(1) 二枚橋衛生組合議会に示された施設更新案について</p> <p>(2) 市民を含む検討委員会を設置しませんか</p>
12月4日	渡辺大三	民主党小金井市議団	<p>1 行財政改革のスピードアップを～その～</p> <p>(1) 人件費・給与等</p> <p>(2) 組織・人事等</p> <p>(3) 歳入確保・歳出抑制</p> <p>(4) 新たな市民サービスの展開</p> <p>(5) 情報公開・市民参画の徹底</p> <p>2 JR中央線高架下スペースは、市民本位の活用を</p> <p>(1) その後の検討経過を問う</p> <p>(2) 市域の中央を横断するスペースであるので、有効利用に具体策を講ずるべきだ。駐輪場に関しては、立体化やキックスケーター導入を検討すべきだ。多目的オープンスペースを設け、商業利用・地場野菜の販売・フリーマーケットに供する考えはないか</p> <p>3 江戸幕府の開府(1603年)400年について</p> <p>(1) 市及び教育委員会としても、各分野において記念事業を行うべきだと思うが、何らかの計画はあるか</p> <p>(2) 江戸時代から現代までの小金井の変遷をテーマに企画展を行うなどの工夫ができないか</p>
12月4日	関根優司	日本共産党小金井市議団	<p>1 東京大気汚染裁判判決を受けて、小金井市の大気汚染対策、まちづくり、道路・交通行政を問う</p> <p>(1) 判決と、判決に対する国・都の対策の評価と検討について</p> <p>(2) 大気汚染についての市の現状認識について</p> <p>(3) NO₂ 測定場所の改善</p> <p>(4) TDM(交通需要マネジメント)東京行動プランと小金井市の方針について(ディーゼル車対策、アイドリングストップ、自転車対策等々)</p> <p>2 実施2年半で矛盾を深める介護保険制度 安心できる介護を実現するために何が必要か</p> <p>(1) 2年半の介護保険制度の評価について</p> <p>(2) 来年度からの介護保険料の値上げをするな</p> <p>(3) 訪問介護の利用料の自己負担を国が3%から6%にしようとしているが、独自に減免・助成制度を作り、少なくとも負担を現行レベルに抑えよ</p> <p>(4) 基盤整備の促進を</p>

12月4日	小尾武人	小金井市議会公明党	1 都市間交流・国際交流の新たな方向性を
			(1) 市内の諸団体の代表による、将来の方向性についての話し合いの場を設定しないか
			(2) 市内諸施設（例えば体育館、小・中学校など）の案内板に英語等の表示を加えないか
			2 市立小・中学校トイレの快適・清潔な管理を
			(1) 清掃方法の現状把握
			(2) 関係者の緊密な関係を
			3 市民生活の利便性・安全性を高めるために
			(1) コミュニティバスの第2路線の実現は
			(2) 連雀通りの拡幅計画の現状と今後の見通し
(3) 新小金井街道、野川側道の街灯新設を			
12月5日	板倉真也	日本共産党小金井市議団	1 開発優先から市民生活優先の市政に転換を
			(1) 第2次財政健全化計画の「民間委託等の推進」「歳入の確保等」「特別会計の健全化」による市民生活への影響について、市長の認識を問う
			(2) 駅周辺の大型開発の市負担分の財源を、どのように工面する考えなのか
			(3) 市財政に大きな負担をおよぼす、駅周辺の大型開発を見直し、市民のくらし・福祉に光をあてた市政運営を
			2 高齢者の高額医療費の全額窓口支払いを改善する施策を
			(1) 受領委任制度の採用に向け、都及び医療機関と協議を
			(2) 高額医療費の窓口支払いが困難な人への、資金面での対応策を
			(3) 入院時の減額認定証の全非課税世帯への送付を
			12月5日
(1) 緑のまち小金井として、学校等施設の緑化をどのように考えているのか			
(2) 学校の緑化を進めるにあたっては、子どもたちが自主的に選べる体制をつくらないか			
12月5日	和田茂雄	小金井市議会公明党	1 緑の保全と資源としての活用について
			(1) 樹木剪定など庭木の手入れ講習会の継続を図るべきだ
			(2) 落ち葉および剪定枝の堆肥化など資源としての活用の徹底を
			(3) 多摩の森の間伐材の活用について
			2 産学官連携による起業（ベンチャー）支援事業について
			(1) 現状をどう認識しているか
			(2) 市としての取り組みの現状を問う
			(3) 今後の展開について、広域的な多摩東部といった地域産業クラスターのような展開が重要だと考えるが、当局の考えはどうか
			(4) 時代の要請によって、図書館の役割も変わってくる。ベンチャー支援の情報コーナーとしての役割を担うよう、検討すべきだ。小平、浦安、秋田の図書館の事例を検証してはどうか

12月5日	齋藤康夫	民主党小金井市議団	<p>1 グラウンド不足解消のための野川第二調節池や他の施設の活用について</p> <p>(1) 野川第二調節池をスポーツ施設として利用するための過去の経緯と今後の対策について</p> <p>(2) 東京都との交渉について</p> <p>(3) 野川第二調節池の今後の利用方法について</p> <p>(4) 大学、高校、民間企業と連携を深めるべきである</p> <p>(5) 市立小・中学校の校庭に照明設備を</p> <p>(6) 市営グラウンドの再整備について</p> <p>(7) 生産緑地の解除地をスポーツ公園に</p>
12月5日	高木真人	民主党小金井市議団	<p>1 ながら条例について</p> <p>(1) 組合活動で職場を離れる時の授業体制は、どうなっているのか。又、校内での会議には、支障がないのか</p> <p>(2) 市立小・中学校での勤務時間内組合活動に要した時間数は、どのくらいか(平成13年度)。又、その時間数を、給与に換算したらどのくらいか</p> <p>(3) 来年度以降の取り組みに関して</p> <p>(4) 行政職での実態は、どうなのか</p> <p>2 校庭の芝生化について再び問う</p> <p>(1) 杉並区立和泉小学校の評価は</p> <p>(2) 教育的な成果をどのように考えるか</p> <p>(3) 他自治体の来年度以降の動向を把握しているか</p> <p>(4) 給食の民間委託で削減される人件費を、緑化事業に振り向けないか</p> <p>3 男女共同参画について再び問う</p> <p>(1) 現在の素案と内閣府の通達の整合性をどのようにして計るのか</p> <p>(2) 素案に対して議会の意見も聞くべきだと思うが、今後の条例成立までの経緯は</p>
12月5日	野見山修吉	市民の党	<p>1 来年度予算について</p> <p>(1) 歳入・歳出見つもりでのポイントは</p> <p>(2) 再開発、再任用など、今年度予算否決となった問題での対応は</p> <p>2 情報公開制度の前提として、文書の作成・取り扱いについて</p> <p>(1) 文書作成にあたって、記録性、簡易だが、十分に内容をおさえたいものにしてほしい</p> <p>(2) 必要な文書の破棄・改ざん、汚損・紛失などがおこった場合の対応は。また、公開にあたって、充分な公開対応がされなかった場合の対応は</p> <p>(3) 文書作成・保管の具体的マニュアルを</p> <p>3 介護を担う人の立場の向上について</p> <p>(1) 実態調査により、ケアマネージャーやホームヘルパーから問題点が浮き彫りとなるが、今後どのように市は受けとめ、施策化していくのか</p>

12月6日	藤村 忍	小金井・生活者ネットワーク	1 地域における子どもたちの活動を支援するために			
			(1) 貫井南児童館での中高校生向けの居場所づくり等の事業について			
			(2) 各児童館に、中高校生が企画運営等に参加するための「中高校生委員会」を設けないか			
			2 環境にやさしいまちづくりを目指して			
			(1) 市内の一般家庭等の小規模焼却炉の回収状況と今後について			
			(2) 市内の小・中学校の小規模焼却炉の撤去状況と今後の撤去計画等について			
			3 市民参加のまちづくりを進めるために			
			(1) 「まちづくり条例」について			
			(2) 市民をサポートするコーディネーター派遣制度を設けないか			
12月6日	小山美香	小金井・生活者ネットワーク	1 安全でおいしい水を飲み続けるために			
			(1) 東京都の「多摩地区水道経営プラン21」から、見えるもの			
			(2) 水道水の安全性と地下水について			
			(3) 水道水を知るための小・中学生向け副読本について			
			(4) 都民のために、新たなダム建設は必要か			
			2 リサイクルよりも、リユースの推進を			
			(1) 粗大ごみのリサイクルについて			
			(2) 家電リサイクル法の4品目(テレビ・冷蔵庫・エアコン・洗濯機)のリユースの可能性は			
			(3) ごみ処理基本計画の見直しについて			
12月6日	若竹綾子	湧く湧く環境クラブ	1 武蔵小金井駅南口再開発と駅舎のあり方について			
			(1) 駅前地域に看板等の設置をしていただけないか			
			(2) 市民の意見のあつめ方について			
			2 性差別のない社会にむけた取り組みについて			
			(1) 男女混合名簿の完全導入をすすめて下さい			
			(2) 庁内のお茶汲みに関しては今、どうなっていますか			
			(3) 市民に対して言葉づかいを気をつけていますか			
			(4) 小金井市セクハラ防止要綱の運用状況と条文解釈について			
			3 G I D (性同一性障害)を抱える方々の視点から行政サービスを考える			
			(1) 市の各種文書における性別の表記(記入)をなくしていくことはできないか			
			(2) G I Dに関する理解・認識を深めていくための取り組みを			
			4 交通安全対策について			
			(1) 道路標識などの傷みや損傷を目にしたら、たとえ持ち場が違う職員でも担当課に連絡をして下さい。また、そのためのシステム構築をお願いします			
			12月6日	漢人明子	市民自治こがねい	1 住民基本台帳ネットワークシステムはやっぱり危ない

			(1) 全国センターサーバの障害は修正されましたか
			(2) 「電子政府関連三法案」による住基ネット適用事務の2.5倍拡大について
			(3) 住基ICカードの独自利用は行うべきではない
		2 紙資源のリサイクルをすすめるために	
			(1) 古紙分別のポイント
			(2) 古紙は再生可能な白い無漂白の紙ひもでしぼるよう奨励しませんか
			(3) 環境保全型再生紙への理解と使用の拡大を
		3 電磁波による健康被害について「予防原則」に則った対策を	
			(1) 疑わしいものは悪影響が立証されていなくても極力避けるべきであるという「予防原則」に則った対策が必要ではありませんか
			(2) 公共施設の電磁波の測定・把握を
12月6日	井上忠男	日本共産党小金井市議団	1 長引く不況から市民生活を守る施策の充実
			(1) 「緊急地域雇用創出特別交付金」を活用し、市民の就労の拡大
			(2) 生活資金融資の借り入れの改善など、生活支援制度の拡充
			(3) ハローワークと協力し、小金井市がインターネットで、求人情報を市民に提供する事業を（狛江市で実施済み）
			(4) 市の小口事業資金融資制度の開業資金を女性の起業家への適用と住所要件の緩和など改善をはかること
			(5) 市役所や学校などの備品、消耗品、食材などの購入を地元業者最優先に改善すること
			2 市民のプライバシーを侵害するおそれがある「住民基本台帳ネットワーク」について、市長の見解を問う
			(1) 本格稼働前に「住基ネット」の利用拡大の国会の議決は信義則違反と考えるが、市長の見解は
			(2) 緊急時に切断を可能にする「個人情報保護条例」の改正を
			(3) 本人が情報開示を請求した場合、利用した事業などを開示するなど「自己情報の管理権」を確保すること

「最新情報」のページに戻るときは、このページを閉じてください。

閉じる